

議会だより



「ならぬことはならぬのです！」恒例の白虎隊の演舞
学芸発表会（千里幼稚園）

平成 26 年 12 月定例会・臨時会

◆あらまし・議案審議	2
◆予算審査特別委員会	3
◆請願・臨時会	4
◆一般質問 9 人が登壇	5
◆委員会レポート	14
◆町民の声	16



シソ科の多年草「シモバシラ」

あらまし

12月定例会は12月1日から10日まで開催されました。
町長から提出された議案は、専決処分の報告案件1件、専決処分の承認案件1件、平成26年度補正予算案件7件、条例の制定案件8件、条例の一部改正案件6件、工事請負契約の締結案件1件であり、すべて原案のとおり可決しました。
また、委員会提出議案1件が提出されました。
一般質問は9人の議員により2日間にわたり行われました。

【主な質疑】

職員の自己啓発等休業に関する条例

問 自己啓発等休業の必要性があつての制定か。

答 地方公務員法の改正が平成19年8月に施行されたが、規模の小さな町村では、職員に休業されては定数の関係もあり制定しなかつた経過がある。今後、町村職員についても自己啓発を含めた勉強が必要、たとの判断から耶麻町村管内で一緒に条例制定を進めることとなつた。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

問 各地区にある児童クラブは、この条例になつた中で運営されているのか。

答 国が定めていた放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準に従つて条例で定めるものであり、6箇所の児童クラブは条例にそつた形で運営ができています。

道の駅敷地造成工事請負契約の締結について

問 工期が平成27年3月31日となっているが間に合うのか。

答 雪の状況によるが、降雪時には工事を中断させていただくので、中断した分については、翌年度へ繰越ということも考えられる。

問 表土をはぎとる作業はすぐに入るのか。

答 施工計画書をいただき実施していくが雪の状況による。

問 盛土は100ペクレルkg以下なのか。確認は。

答 空間線量で0.23マイクロシーベルト／時間を下回っているので問題はない。盛土搬入時には確認する。

問 表土はぎとりの工期は。

答 1. 8ヘクタールに対して、20センチの厚さではぎとるため2週間から1ヶ月程度かかる。

問 契約は3月31日が工期となっているが、最初から次年度への繰越になるのではという話があるが。

答 工事の完成は、降雪の関係もあるがなるべく短期間の完成を目指す。3月31日が難しいとなつた場合にはあらためて繰越のお願いをする。

米価下落対策補助に1500万円の補正計上!

道の駅敷地造成工事請負契約の締結について

反対討論!

【五十嵐三三子議員】

水田は町にとって大切な資源であり、最大限に利用すべき土地である。この工事をこれ以上進めていくことは納得がいかず反対。

【佐藤 悦夫議員】

地域的に厳冬期は厳しいものがある。悪条件になるであろうと予測されるこの時期に工事をするについて反対。

平成26年度一般会計補正予算

反対討論!

【五十嵐三三子議員】

天のつぶを作付けされている方に10アールあたり8千円、主食用米には10アールあたり800円を支援することになっている。天のつぶブランド米と差別することは納得がいかない。米価下落対策として稲作農家に同じ金額を支援するべきと考え反対。

予算審査特別委員会

議長を除く15人の委員で、平成26年度補正予算7件を審査。一般会計補正予算については賛成多数、その他については賛成全員により可決しました。

平成26年度補正予算

【歳入】

《寄付金》

問 ふるさと納税寄付金のうち、目的を指定して寄付されたものはあるのか。

答 一番大きな金額を頂いた方は、「未来が輝くまちづくり」を指定され、産業振興に充当してほしいということであった。

《諸収入》

問 東京電力㈱からの損害賠償金の請求内容は。

答 今回の賠償金は、平成23年度請求分で、請求総額6135万8千円のうちの1025万2千円である。

【歳出】

《総務費》

問 旧町立病院管理費の備品購入費の内容は。

【議案内容と可決状況】

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	結果
	佐瀬 真	細貝 功人	佐藤 悦夫	佐藤 英一郎	長澤 操	金本 久美子	渡辺 真一郎	五十嵐 三三子	後藤 公男	渡部 博幸	山田 長平	関沢 和人	鈴木 武喜	穴沢 進	佐藤 光幸	長沼 一夫	
平成26年度猪苗代町一般会計補正予算	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
道の駅敷地造成工事請負契約の締結について【契約金額1億368万円】	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	－	可決

上記以外の22議案については全会一致で可決しました。

※賛成は「○」、反対は「×」、議長は採決に加わらない。

に12名の申し込みがあつたため、7名分を増額した。

《土木費》

問 道路維持費の委託料の増額の内容は。

答 防雪柵設置、消雪施設の管理、除雪機械等の3種類の委託であり、防雪柵と消雪施設で7600万円程、前年比2500万円の増となっており、これは震災後の人件費と諸経費の高騰によるものである。

問 道の駅整備事業費の財源補正で「がんばる地域交付金」が充当されているが、この使用目的は決まっているのか。

答 この交付金は町の財政力と行政努力の部分で算定されたもので、町としては、道の駅の造成工事に充当するものとした。

《教育費》

問 こども園費の備品購入費の減額の内容は。

答 9月の定例会の補正予算で通園バス3台を購入するよう対応し、うち1台を今回は570万円で購入し、入札の請差分を減額した結果である。残りの2台については、現在、日本財団に助成の申請をして審査中となっている。

一般質問 町政を問う



金本 久美子 議員

Q. (仮称)川西認定こども園の実際の開園は
A. 事業の認可・補助金・教育課程を検討し、保護者に募集前後に密度の濃い説明をする

【仮称】川西認定こども園整備事業のその後は
【金本】工事未着手の訳は。
【答弁】地下の構造の杭と長さの検証による構造の再計算、それに伴う設計の見直しを含め、審査機関の指摘事項のクリアを繰り返し、工期の延長をいただいた。
【金本】平成27年4月開園という町の政策は。
【答弁】4月開園と約束したが、もう少し時間をいただきたい。
【金本】募集定員をこども園と同様に保障するということは。
【答弁】0歳児9人、1歳児24人、2歳児34人の乳幼児保育を猪苗代保育所で行う。3歳児の幼児教育は猪苗代・千里幼稚園で保育室を設けて行う。4歳児、5歳児は今まで通り猪苗代・千里・吾妻・翁島で行う。
【金本】年度途中の園児の移動といったが、現実的には28年4月開園という考えのように思えるが。
【答弁】途中の園児移動は教育課程の組み換えや、こどもの心理的なスト

レスも考慮し慎重に対応したい。工程の見直し、認可の問題、日本財団からの通園バス補助金関係、教育課程など検討し、よりよい方向性を探りたい。
【金本】父兄への説明は。
【答弁】募集の前後に、申込みされる保護者に密度の濃い説明をする。
【金本】大幅な見直しを強いられるようになった原因とその責任は。
【答弁】総括のまとめについて教育委員会に顛末を出すよう指示している。
道の駅整備事業の状況は
【金本】追加補正3億円の敷地造成の現状は。
【答弁】河川土砂採取4千300万円発注済で、敷地造成に1億円、河川土砂採取2工区で4千万円、3工



川西こども園建設地

区で約4千万円を予定している。本年度は造成地3・5ヘクタールのうち2ヘクタール程。次年度以降の長瀬川からの土砂採取について福島県と協議している。
【金本】浚渫工事、残土処理は通常経費がかかるが、県からの補助、交付金対応は。
【答弁】がんばる地域交付金制度で河川土砂工事の半分をいただいている。
【金本】道の駅猪苗代(株)の現状は。
【答弁】農産物直売関係の説明会で54人の出荷申込みがあった。直売コーナーの運営の検討、地場産品の掘り起し、物産と飲食の事業説明会など開催している。
【金本】店舗経営について民間の活力を生かし、店長を公募する件は。
【答弁】取締役会で協議している。店長は公募でいきたい。28年オープンになるので慎重に検討する。
【金本】地方創生の先駆的拠点のモデルへの事業申請は。
【答弁】補助金等について、国交省に出向きモデル拠点に上げてもらうべく要望してきた。

あなたの声を審議しました!!

12月定例会で審議された「請願」の結果は次のとおりです。

区分	件名 請願者の氏名	紹介議員 氏名	付託 委員会	審議結果	区分	件名 請願者の氏名	紹介議員 氏名	付託 委員会	審議結果
請願8号	農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する請願 会津農民運動連合会 会長 根本光一	五十嵐 ミエ子	経済 建設	不採択	請願11号	ねまがりだけ(姫筍)の猪苗代町での出荷自粛から加工品(缶詰等)に関して対象外とすることを県知事に要望することに関する請願 (有)別府商店 代表取締役 別府征哉 他1名	佐 瀬 真	経済 建設	採択
請願9号	政府による緊急の過剰米処理を求める請願 会津農民運動連合会 会長 根本光一	五十嵐 ミエ子	経済 建設	不採択	請願12号	集团的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し、立法化しないことを求める意見書の提出についての請願 新日本婦人の会福島県本部 猪苗代班 小沢敏子	五十嵐 ミエ子	総務	不採択
請願10号	2016FISフリースタイルスキーワールドカップ福島猪苗代大会へのご理解と積極的な支援を県知事に要望することに関する請願 猪苗代スキークラブ会長 五十嵐 憲雄	佐 瀬 真	文教 厚生	採択	請願13号	「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」による就学支援事業の継続を求める請願書 福島県教職員組合中央執行委員長 角田政志 他1名	佐 藤 英一郎	文教 厚生	採択

請願 第11号 付託委員会で不採択された請願が本会議で採択!!

経済建設常任委員会 不採択の理由

出荷制限を受けている野生「ねまがりたけ(姫筍)」の加工品を、限定して出荷することは、採取場所が特定できず、消費者に対して、安全安心の理解を得ることはできない。さらに、町の風評被害を助長することにもなりかねない。今後、採取地の確認や検査方法について、町・県との連携が必要であるため、全員一致で不採択とする。

原案に対して賛成

【佐瀬 真 議員】
東京電力の原子力発電所事故以降、業者の方は自己努力として危ない場所からの採取、材料としないことに努力をしてきた。事故以降の生のねまがりたけと、加工した缶詰の中身の測定データからも放射性物質が安全範囲とわかる。会津ブランド、猪苗代町の特産品、山の資源を守るためにも請願を採択し希望の火を消さないでいただきたい。
【長澤 操 議員】
この地域においては、直売所、加工工場の死活問題でもある。請願に対して賛成。

臨時会 (12月24日)

条例改正に伴う補正予算

平成26年第7回臨時会は12月24日に開催され、町長から提出された条例改正案件4件、平成26年度補正予算6件を審議し、すべての議案について全会一致で可決しました。

【主な議案】

議案第113号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
議案第114号	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
議案第115号	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例
議案第116号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例



佐瀬 真 議員

Q. 都市計画道路整備の見直しは
A. 十分に精査検討していきたい

町道の整備は

【佐瀬】必要ではと言われている町道で工事着工している箇所が少ないと言われているが。

【答弁】多年度に渡り工事認可を頂いている工事も、予算内で発注するのでその年度内で終わらない場合もある。

【佐瀬】町道「城南上野線」は交通の動線を変える意味でも効果的と考えられるのだが、突き当たりになっている「島田上野線」の拡幅などの計画はどうするのか。

【答弁】今のままでは事故などの懸念もあるが、県道と「三城湯天鏡台線」との関係もあるので精査して事業化したい。

【佐瀬】昭和57年に計画された現在の都市計画道路整備だが、震災・原発事故以降人口減少、税収減と状況が変わって来ているが見直す事は考えているのか。

【答弁】現代に置き換えると検討しなければならぬと考えられるが、交付金も使用しているので、十分に精査検討していきたい。

【佐瀬】現在工事を進めている都市計画道路「猪苗代中央線」は都市計画どおりに工事を進めていくのか。

【答弁】平成23年度から整備を進めている一部区間であるが、社会資本整備総合交付金での事業で420mだけ整備を進めている。

【佐瀬】当町の道路は南北への路線よりも東西に渡る路線が必要と思われるのだが。

【答弁】都市計画道路「本町線」は以前に事業化を試みたが種々の事情で出来なかった経緯もあった。

用地の先行取得については、県の財産などの売り払いがあれば優先的に取得していることもある。



猪苗代中学校横「猪苗代中央線」工事

川西こども園の開園は

【佐瀬】初回指名入札が不調に終わったのだが、その後の処置は。

【答弁】工事内容の見直しで2回目の入札を行ったが不調になった。検討の結果過大設計の恐れがあると言うことで設計の見直しをすることになった。

【佐瀬】工事の遅れから、こども園の開園自体も遅れるが、さらなる保護者・住民への説明会は。

【答弁】地区説明会は一般の住民の方を対象にしたものであった。今度は実際にこども園を利用する方々を対象に、1月の募集の前後には行いたい。

【佐瀬】こども園のメリットである3歳児入園と保育に欠けない子の暫定的な処置は。

【答弁】3歳児は猪苗代・千里幼稚園で専門の部屋を設け対処する。他に希望があれば他の幼稚園でも預かる。保育に欠けない子は26年度分であれば受け入れることが出来る。

※城南上野線：体育館南側交差点から西側へのびる町道。

※島田上野線：上記「城南上野線」が西側で突き当たる、南北へ抜ける町道。

渡辺 真一郎 議員

Q. 御嶽山噴火による当町への影響は
A. 噴火後も登山客等への影響はない



御嶽山噴火による町への影響

【渡辺】磐梯山、吾妻山噴火に対する町外からの問い合わせは。

【答弁】登山予定者より10件、報道機関から登山者に対する防災対策についての問い合わせが数件、町民の方々から磐梯山火山防災マップについての問い合わせが数件あった。

【渡辺】町として何らかの対策は行ったのか。

【答弁】平常時から磐梯山周辺の三町村が組織する「磐梯山火山防災連絡会」として対策に取り組んでいる。

【渡辺】御嶽山噴火後、観測値に変化はなかったのか。

【答弁】火山活動に特段の変化はなく静穏期（噴火警戒レベル1）で経過している。

【渡辺】今後の安全対策を行う計画はあるのか。

【答弁】引き続き、国、県など関係機関の協力をいただき、三町村が連携し登山者の安全確保を図っていく。郡山市の民間事業者から磐梯山の山小屋にヘルメット100個の寄贈の申し出があり、来春の山開き

の頃に対応できると考えている。

【渡辺】ハザードマップの変更は考えているのか。

【答弁】現在、国、県、関係市町村で組織する「福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」でその計画の策定に向けた作業が進められている。ハザードマップについても検討されており、変更もあるものと考えている。



磐梯山 噴火の予知、対策は？

地域おこし協力隊の活用について

【渡辺】地域おこし協力隊の採用は検討されたか。

【答弁】何をどの様に活動していただくか、他市町村の先進事例も含め研究している。

国の農政改革と町勢の変化について

【渡辺】農業政策の転換で人口減少が一段と進むのではないかと懸念するが。

【答弁】この10年間で2268人減少している。今後も継続的減少が予想され、第六次町振興計画の平成28年人口1万6000人達成は厳しい。

【渡辺】町としての町勢発展の新たな戦略は。

【答弁】引き続き地域独自の資源を積極的に活用し、地域経済の振興を図っていきたい。今後、地域経済の新たな情報発信基地となる「道の駅」を整備し、町勢の発展に繋げて行きたい。

※地域おこし協力隊：地方自治体が公募を行い、地域おこしや地域などに興味のある都市部の住民を受け入れて地域おこし協力隊員に委嘱する。隊員には地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援などに従事してもらい、あわせてその定住・定着を図る。



五十嵐 ミエ子 議員

Q. 道の駅のオープンはいつ頃か
A. 平成28年度中

大型事業への取組み状況は

【五十嵐】川西こども園の進捗状況は。

【答弁】構造の検証作業と設計の見直し作業が完了し、工事の準備をしている状況である。

【五十嵐】開園が遅れるが町の考えは。

【答弁】今まで議員には何回となく懇切丁寧に説明してきた。21世紀のこどもたちが、猪苗代を担うために活動できることを期待し、開園を望む。

【五十嵐】設置場所の変更の考えは。

【答弁】規模に見合った土地も取得しており、位置の変更は考えていない。

【五十嵐】道の駅の進捗状況は。

【答弁】土地の取得について、土地収用法の事業認定を受ける期間の認識がなかった。それに一年を要した。長瀬川の土砂採取工事、敷地造成工事、土砂採取の第二工区を発注済みであり、今後も発注を進めていく。

【五十嵐】オープンはいつ頃か。

【答弁】平成28年度中。

【五十嵐】今後どのように進めていくのか。

【答弁】平成27年度には、建物の建設に着手したい。同時に第二期の造成工事、28年度において建物の完成、駐車場の整備、その後ヘリポートの整備を考えている。

福祉灯油への取組みは

【五十嵐】今冬に備えて、福祉灯油事業について考えは。

【答弁】平成19年、20年度に県の「福祉灯油緊急補助事業」により実施した経過があるが、町単独事業として現状では実施は難しいと考えている。

米価下落対策は

【五十嵐】直接支払交付金を加えた減収額はいくらか。

【答弁】直接支払分で1億3千万円の減収で、合計で5億7千万円の減収と試算している。

【五十嵐】町独自の緊急対策は。

【答弁】現在、米価下落が続く中でも他の産地との差別化を図り、特に「いなわしろ天のつぶ」のブランド化を推進しており、ひとめぼれの概算金と差額が一俵あたり千円ある



今期出荷の会津米

ことから、差額の一部として10アールあたり8千円を助成し、来年度の作付を推進することとしている。他の主食用米にも10アールあたり800円を助成することとしている。

【五十嵐】東北地域ブランド創生支援事業とは。

【答弁】国の補助事業。国の指導のほか、専門機関の指導支援をいただき、国外への販売促進も指導いただいている。

【五十嵐】天のつぶと主食用米の助成金額の差は。

【答弁】天のつぶは町でブランド米として差別化をはかりながら生き残りをかけて取り組んでいく品種であるため価格設定をした。

道の駅事業の全体予測は

【佐藤】敷地造成には長瀬川の土砂だけで十分か。

【答弁】来年度発注予定分は若干足りないが、なるべく多く河川土砂を採取したい。

【佐藤】採取した土砂は全て使い物になるのか。100ベクレルを超えた場合はどうなるのか。

【答弁】超えれば移動がかなわないがそこまでの心配はしていない。

【佐藤】当初、平成27年4月オープンとした根拠はなにか。

【答弁】ふくしまステイネーションキャンペーン（DC）に合わせたかった。

【佐藤】道の駅構想が出た時はまだDCは立ち上がっていなかったのでは。

【答弁】出ていたように認識している。

【佐藤】運営会社は未だ利益を上げていないが現在の状況は。

【答弁】資本金からの支出により運営しており厳しい資金計画である。

【佐藤】資金不足が発生した場合、町からの新たな補填はあるのか。



長瀬川からの土砂採取

川西認定こども園の現状は

【佐藤】構造計算・設計積算に問題があり、設計見直しにより遅れるとの説明を聞いたが。

【答弁】検証作業と設計見直し作業により工事を中断している。

【佐藤】責任が発生するといったが、どのような責任でどの部署、どの段階まで及ぶのか。

【答弁】責任は発生する。懲罰委員会なり事業の推移をみながら決定する。

【佐藤】なぜ小中学校統廃合とセットの説明会にしたのか。

【答弁】特にこども園整備計画とセットというわけではなく、教育施設適正配置という大きな枠組の中における流れの一環ということである。

【佐藤】もつときめ細かい検討は。

【答弁】今後、具体的かつ細かい検討を重ねていく必要がある。

小中学校の統廃合の考え方は

【佐藤】統廃合ありきではなく少人数でのメリットは考えられないか。

【答弁】時間をかけて理解させるなど指導形態において確かにメリットがあり理論的にも確立されているが、こどもたちは集団的な活動をとおりて総合的にも成長していくものでもあると考える。

佐藤 悦夫 議員

Q. 未だ利益を上げていない道の駅運営会社の
実態は
A. 資本金からの支出により運営している





関沢 和人 議員

Q. 重点施策の財源の見通しは
A. 特定財源の確保に向け、国・県に獲得すべく努力をしている

人口減少の対応策は

【関沢】国が進める「まち・ひと・しごと創生法」にどのように対応するのか。

【答弁】法律の内容や詳細について研究を行い、県との連携に努め、来年度から策定に入る予定の猪苗代町第七次振興計画との整合性を図りながら進めたい。

【関沢】若い人の意見、積極性をとりだすために、猪苗代創生会議など町のビジョンの検討は。

【答弁】若い方たちに積極的にそういう機会に参加していただき、フレックシユで斬新な意見を盛り込めないか、新たな視点、外からみた視点を採用していくべきと考える。

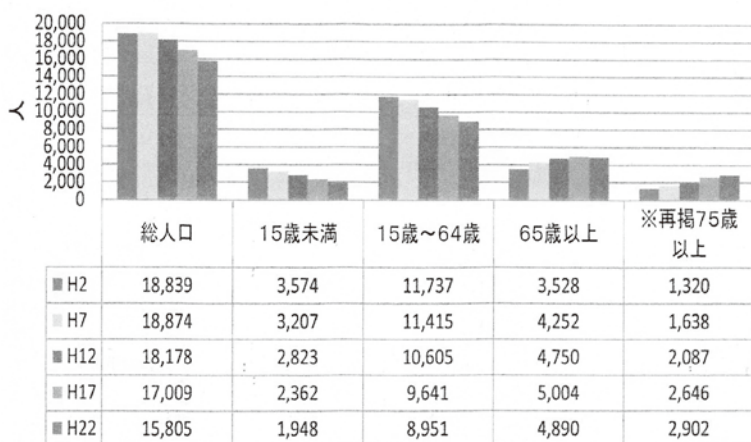
【関沢】若い人への定住対策は。

【答弁】若い人たちのニーズがどこにあるのか、従来からの施策や地域にある資源を活用し、組み合わせや拡充の検討をしていく。

【関沢】定住化について早急に対策をとるべきでは。

【答弁】振興計画が28年度までなので、来年度から策定に着手し、そこに盛り込みたい。

年齢階層人口の推移(H2~H22 国勢調査)



平成27年度予算の取り組みは

【関沢】重点施策は何か。

【答弁】道の駅整備事業がメインになる。復興関連の風評被害対策の継続、採草放牧地の除染なども重要な施策であると認識している。

【関沢】それらの財源の見通しは。

【答弁】将来財源を確保できるかが重点事業の推進にかかってくる。特定財源の確保は、町長を中心に国・県に獲得すべく努力をしている。

農業施策は

【関沢】米以外でも高所得につながる農産物が求められるがその対応は。

【答弁】産地交付金を活用した園芸作物等の生産活動を推進している。現在パイプハウスのリース事業やアスパラガス生産拡大に伴う種苗購入に対する支援を行っている。

【関沢】食品加工等、六次化産業の振興が言われているが、具体的な支援策はあるか。

【答弁】町独自の直接的な支援制度はないが、六次化に関しては国、県の各種支援事業や、サポート事業があり、既に独自で加工・販売等を行っている方々もあり、町としてもそれらに対する有効かつ具体的な支援策を検討していきたい。

【関沢】新規就農者への支援策は。

【答弁】町外から新規に就農した場合、最長三年間補助する「新規就農事業補助金制度」を設けており、9月に「農業経営基盤強化構想」を改正し、意欲のある新規就農者を支援していくこととしている。

考慮して、冬期間外で遊ぶ場合の通路など、安全を考慮しながら運営していく。

「道の駅猪苗代」は計画通りに進んでいるのか

【答弁】平成27年度に建物の建築を開始し、28年度開業を目標としている。ヘリポートは28年度以降に整備を行う。

【佐藤】展望台は人工物ではなく、自然の中で眺める工夫は。

【答弁】自主設計の作成中であり建設費との絡みもあり、十分検討している。

佐藤 英一郎 議員

Q. (仮称)川西認定こども園の地区説明会の開催結果は
A. 説明会出席者は195人、建設的な意見が多く重大に受け止め対応する

保護者自らが意見のとりまとめに入ったことについてどこまで掌握しているのか

【佐藤】説明会へ出席することができなかった人への対応と、説明会の今後の対応は。
【答弁】園ごとの出欠を取っていないかったので、その保護者の方への対応はしていなかった。連絡いただいた方等には、説明し資料を渡し対応した。今後は、保護者会等での日中開催も考慮していく。

【答弁】猪苗代幼稚園、千里幼稚園のPTA会長さんが行ったアンケートの写しをいただいた。開園時期に関する要望、年度途中でのこども

の移動は歓迎しないなど、こどもに関するさまざまな配慮、心配が主であった。

【佐藤】町に要望として届いているのか。
【答弁】結果の報告はない。

【佐藤】正式に受け取っていないのとことだが、若い人の声に真摯に向き合う必要があるが。

【答弁】人口、少子化の減少に歯止めをかけなければならないことを意識し、こども園整備を行ってきた。各園のアンケート調査の結果も見させていただったので、これから整備計画に反映していきたい。

【佐藤】一連の川西こども園のことについて、現場はどこまで内容を知り得ているのか。

【答弁】幼稚園長会、幼稚園教育研究会の機会をとらえて周知・理解に努めている。

川西こども園の安全対策は

【佐藤】進入路、冬期の雪に対する安全対策は。

【答弁】町道からの進入は右回りのルールで対処していくので道路路上での待機は避けられる。落雪の事故に



待たれる道の駅建設（建設予定地）



渡部 博幸 議員

Q. 今後の天のつぶの推進と面積は
A. 今年より増え50ヘクタール前後見込んでいる

農業振興対策は

【渡部】低米価対策の交付面積は。

【答弁】概算で一般1700ヘクタール、天のつぶは30ヘクタールを見込んでいる。年明けのなるべく早い時期に交付をしたい。

【渡部】飼料用米の拡大は。

【答弁】作付けは22ヘクタール。飼料用米は収量が上がれば助成金も増額される仕組みになっているが、本町は良質米の生産ができる所であり、県等の指導を得ながら慎重に行っていく。

【渡部】飼料用米の種子の確保は。

【答弁】種子については、気象条件にあった、ふくひびき・べこごのみがあり本年度の2倍程度の確保と聞いている。

【渡部】備蓄米の来年度の取組みは。

【答弁】一定の販売価格が確保でき、転作扱いにもなり生産農家にとってメリットが大きいので、関係者に協力をいただき本年同様に数量を早めに確保したい。

【渡部】今年産米の集荷と等級は。

【答弁】JAあいつの買い入れ実績では、

11月末で約20万3千袋の申し出に対して90%あまりの集荷率で、1等米の比率は96.3%となっている。

【渡部】カメムシ防除の補助事業の内容は。

【答弁】米の格付け等級を上げるために、集落で集団防除の推進のため助成制度を設けた。今年の取組み集落は35地区で面積は903ヘクタール。今後補助金交付の手続きを進めていく。

【渡部】今後の天のつぶの推進、面積は。

【答弁】種子の注文状況から今年より増え50ヘクタール前後見込んでいる。

【渡部】農作業の事故対策は。

【答弁】農繁期に事故発生リスクが高まるので、広報誌や研修会を通して事故防止に向けた普及啓発を行っていく。



いなわしろ天のつぶ
ロゴマーク

よう、今後も一体的な推進を図っていく。

【長澤】町民の安心安全対策は。

【答弁】猪苗代町地域防災計画の策定・更新を行い、あらゆる災害に対応できる体制づくりに取り組んでいる。

福島原発の影響については、今までの事業の評価を行い、さらに実施すべき点を洗い出したい。

【長澤】少子化・高齢化対策の福祉体制の確立は。

【答弁】少子化対策として、幼稚園の長時間保育や保育所の時間外保育、高校卒業までの医療費無償化や、こども園の整備など施策の充実を図ってきた。

【長澤】高齢化対策と、統廃合により空く園舎等の活用は。

【答弁】高齢者の施設入所待機者は施設整備により、以前より入所待ちの環境は改善していると推測される。統廃合による空施設の活用については、国においても検討されており、前向きに検討したい。

【長澤】地域を担う豊かな人づくり推進はいかに。



いなわしろ天のつぶ
イメージキャラクター
「いなな」

災害・防災時の対策は

【渡部】町独自の防災マップ作成は。

【答弁】洪水・土砂災害マップは作成済みで、磐梯山火山防災マップは、平成24年に改訂版を三町村で発行している。文字が小さいという指摘もあり、町独自のものを今後検討したい。

【渡部】公共施設の耐震化対策は。

【答弁】昭和56年以降のものは耐震基準を満たしている。56年以前の教育施設等では耐震化対策が喫緊の課題であるが、小中学校、猪苗代中学校を含め統合の話もありその中で対応をしていきたい。

【渡部】災害は忘れた頃にやってくるが。

【答弁】耐震化は膨大な費用がかかり、該当する項目については地方創生の補助金の中で対応できるか検討したい。

【答弁】支援・強化策として、教育委員会への指導主事の配置、競技力向上推進委員、特別支援教育支援員の配置、先生方の研修と、各学校が存在感・特色ある園、学校づくりの推進に努めている。

【長澤】県立猪苗代高校の教育の充実が図られたか。

【答弁】環境スポーツ科の新設は平成25年に県に要望し、先々週、県の教育長に再度要望してきた。

現状では増設することは、難問であるが地道に要望していく。



廃園予定の猪苗代保育所

長澤 操 議員

Q. 任期中に色々取組まれたが、やり残しの事業等に対する思いは

A. 本年度まで取組んできた重点事業の完成が目標

前後町政の公約を問う

【長澤】開かれた町政とあるが、どんな取組みをされたか。

【答弁】「ご意見箱」を設置し、ご意見に対しては回答と所要の改善に努めた。公平公正の観点から「各種行政委員会」への女性の登用推進を図った。

【長澤】健全で解りやすい財政基盤とは。

【答弁】財政の健全化判断のひとつに、実質公債比率があり以前に比べ健全な方向にある。

【長澤】多くの大型事業で将来につけが回らないか。

【答弁】大型事業については、国や県の補助金をはじめ特定財源を確保し、一般財源の負担軽減に努め、財政の困窮を招かないようにしたい。

【長澤】観光と農工商と一体となった町づくりの推進は。

【答弁】原発事故後、本町が安全な観光地であることを強く発信してきた。観光業は、大きな経済効果をもたらす、すそ野の広い産業であり、農業や商工業の活性化につながる。

委員会レポート

文教厚生常任委員会

児童館・放課後児童クラブ

猪苗代町児童館

児童福祉法に基づいて、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として、特定非営利活動法人子育てサロン日向ぼっこにより指定管理されている。

平成25年度は290日開館し、年間利用者数は、未就学児67人、幼稚園児222人、小学生1750人、大人324人、計2363人。開館時間は午前8時から午後6時。休館日は日曜日、国民の祝日、12月29日から翌年1月3日等。

放課後児童クラブ

遊びを主とする活動を行い、児童の健全育成の向上を図ることを目的として、小学校の通学区域を単位とし設置されている。子どもたちが、好きな場所で好きな遊びを、自分たちで考え活動していく生活の場である。

下校後、保護者の就労等による留守のため、適切な保護が受けられない児童を対象とし、負担金1ヶ月2千円（減免規定あり）と教材費千円の保護者負担がある。登録児童数は、猪苗代65人、翁島19人、千里52人、緑30人、長瀬44人、吾妻34人。開設時間は、月曜日から金曜日、午後1時から午後



猪苗代町児童館多目的ホール

6時。土曜日、学校の行事等による振替休日・長期休暇は午前8時から午後6時。日曜日と祝祭日、お盆、年末年始は休館。
現在の猪苗代児童クラブに隣接して、国県の補助を受け、木造平屋20坪ほどの（仮称）猪苗代第2児童クラブを建築中である。

意見

児童館においては、手作り遊具、本、施設などが大切に使われている。外にあるコンクリートスロープの残がい危険なので早急に取り除くべきである。また、子育て相談など、ホームスタート事業などを通じて今後も進めていたきたい。

児童クラブは一部指導員が不足しているとのことだが、不審者に対する対策など安心安全なクラブ運営がなされるようにすべきである。

議会運営委員会

議会運営の活性化

埼玉県 杉戸町議会

①議会基本条例の策定状況

策定にあたっては、先進地の視察を重ねるとともに、議長を除く全議員で構成する「議会基本条例策定特別委員会」を平成25年6月に設置し、平成26年10月までに20回協議検討が行われた。条例の上程、議決については、平成27年3月の定例会を予定し、4月からの施行とする予定である。

②議会報告会の実施状況

わかりやすい開かれた議会を目指すとして、平成22年10月から議会報告会を開催しており、10月の報告会では9月決算議会の報告、5月には3月予算議会の報告をしている。全議員が出席し、手話通訳を配置し障害者にも配慮し、だれでも参加できるようにしている。

全国町村議会議長会

①議員定数議員報酬の動向

全国の議員定数は、町村数が930。人口の平均が1万1462人。一議会あたりの平均議員数が12・3人である。財政事情や住民からの意見で定数を減らしており、上限定数より7・8人の減となっている。



議会運営の活性化について研修（杉戸町議会）

②議員のなり手不足・小規模議会の運営

議員になる名士が減少したこと、候補者となるべき若い人材が、雇用場がないため都市部へ流失してしまったことで、議員のなり手が不足している。議員数が少ない小規模議会では、住民との協働や大学等との連携などの運営や、まちなかを歩いて住民の声を拾い、議員の必要性を認識させることが必要である。

③議会報告会・住民懇談会の運営

現在、全体の約3分の1の299町村議会では、議会報告会や住民懇談会を実施している。運営上の問題として、参加者が少ない、若者が少ないなどの問題があり、また、住民から執行者へ対する意見・要望などが多く、運営には工夫が必要である。

総務常任委員会

防災備蓄の状況・災害危険箇所の状況

防災備蓄

防災備蓄には資材、機材と食料の備蓄がある。施設ごとに備蓄品の一覧があり、水防センターには他にテント、飲料水、東日本大震災時の支援物資が備蓄されている。補充は防災訓練時に期限が切れそうなものを使用し、その分を補充している。備品、台帳の整備は昨年一斉調査をして前回の不備の指摘を受けた点も併せ、消費期限を確認し備蓄品を補充し防災計画書に掲載した。

災害危険箇所

防災計画の資料に基づき、重要水防地域の指定箇所、土石流、急傾斜、山腹崩壊、崩壊土石流出、砂防指定地、雪崩危険箇所のリストの内容の説明を受けた。問題点として、現地で使用されていない地名があり、地元が困るとの指摘から県に確認を求めるとした。

危険度については、県の土木部は表示しているが、県の農林水産部は表示していない。表示板は県町どちらでやるか検討を求めている。危険度の高い場所は対策、対応が必要との指摘があった。



意見

土砂災害ハザードマップは県の土木部喜多方建設事務所所管であり、農林水産部は別途で指定するので二重に網がかかっている。ハザードマップは県で作成し町の名前で印刷しているが、町としてもわかりやすい独自のハザードマップを作成すべきである。

県の防災工事内容は建設、農林の各課に案内があるが、防災担当課には通知がなく内容を知らない。所管でなくとも災害対策の工事内容は総務課でも把握すべきで、住民への周知も必要である。

経済建設常任委員会

スポーツイベントを通じた町の活性化と経済効果

主なスポーツイベント

「福島県中体連スキー大会」、選手179人、延べ宿泊475人。「全国高校スキー大会」、選手1478人、延べ宿泊9275人。応援者を含めると1万人を超える。大会前の合宿などもあり町への経済効果は大きい。

町内各スキー場で「ゲレンデ逆走マラソン大会」が6回開催され、1285人が参加。「サツカー教室」、90人参加。元なでしこジャパンの選手がコーチにあたったこの2つは「GAMBARU ZOFUKUSHIMA」が実行委員会となっている。

「沼尻軽便鉄道ウォーキング」、181人参加。亀ヶ城公園をスタート・ゴールとし「ノルディックウォーキング」が開催され120人参加。「福島県高校駅伝競走大会」、選手743人、延べ宿泊789人。夏から合宿などが町内で行なわれ活性化への波及は大きい。「猪苗代湖ハーフマラソン大会」、2918人参加。カメリーナのスタート・ゴールには町内の各種団体による「おもてなし」のサービスもあり好評であった。

意見

①多くのイベントは民宿が係わっているが、近年マイクロバスなど

の送迎ができないなどの原因で軒数が減っているのではないかと。町としてイベント対応での送迎バス等の体制が取れないか、検討を要する。

②広告の媒体としてツイッターやフェイスブックが多くなっているが、人の集まる場所や公共施設にはポスターなども並行して宣伝すべきである。

③スキー場の入場者数は教育旅行以外は7、8割戻ってきているが、県支援の「雪マジ9」や「いなチケ」の「ゆきイチ」などのサービスを継続して、今後もリピーターを確保することが大切である。

④高校駅伝は参加者からも好評だったが、手に持つ応援の旗などが少なく、町が一丸となって応援する姿勢を示すことができたのか、今後工夫をすべきである。

⑤ハーフマラソンの日程は定期的な開催が望ましいのではないかと。また、予算の関係もあるが、ゲストランナーなども必要である。



福島県高校駅伝競走大会

町民の声



月輪地区
佐藤 久雄 さん

猪苗代は

いいところだ

夜明け前、空気がピンと張って磐梯山がキリッと立っている。かつこいい。夜中に降った雪が朝日にキラキラと輝いている。きれいだ。

昨年4月、44年振りに戻って再び町民になった。時々帰って来ていたが、住んで居るのとはまた違う。児童生徒の頃ともまた違う。磐梯山は相変わらずかつこいい。湖水もいい。新緑、田植え後の水田、むせるような緑、黄金色に輝く稲穂、紅葉、そしてしんと降る雪。いいな。野菜・果物・山菜がうまい。米がうまい。そばがうまい。水がう

まい。空気がうまい。「猪苗代はいいところだ」と改めて実感している。

久し振りの猪苗代はわからないことばかりだ。各地区の場所・人、名所旧跡、店・銀行、行事、町政等々、何もかもさっぱりわからない。それで、少しずつ出掛けたり行事に参加したりしてみた。学びいな、天鏡台、はじまりの美術館…。いなわしろ歌謡ステージ、学びいな秋祭り、野口英世記念ばんだい高原国際音楽祭、野口英世記念館市民講座、猪苗代ノルディックウォーキング大会、猪苗代湖クリーンアクション、農産物直売所への出品等々。結構おもしろい。いろんな人との出会いもある。

まだわからないところが沢山ある。山が湖がある。森林・田畑・温泉がある。今年もほとんど出掛けて探検したい。自然環境・資源に恵まれた豊かな猪苗代で、無理せず欲張らず、のんびりと楽しく元気に生きていこうと思う。

議会の行事

県町村議会議員研修会（10月28日）

「議会改革と地方分権」と題して、明治大学名誉教授の中邨章氏の講演と「これからの政治・経済のゆくえ」と題して帝京大学経済学部教授の黒崎誠氏の講演を聴講しました。（ビッグバレットふくしま）



編集後記

新年にあたりご祝詞を申し上げます。昨年、師走に入って衆議院議員の解散総選挙がありました。マスコミの予想どおり、議席の3分の2以上を与党が占め磐石の態勢にはなりましたが、投票率は52%台でした。今後の国政の推移に注目していきたいと思っています。

もう一つの大きな話題は、赤崎、中村、天野の三氏がノーベル物理学賞を受賞したことです。物理学は物が見えなくても理論を組上げていく学問でもあります。物理学にはなじみませんが、見えない物の代表に「心」があります。人は時として見える物を強く意識しますが、物事の起こりは全てこの見えない「心」に起因していると思います。

今年も、猪苗代町議会を、どうぞよろしく願っています。

佐藤 悦夫

議会広報編集特別委員会

委員長	佐藤 光幸
副委員長	金本 久美子
委員	佐藤 真
委員	細貝 功人
委員	佐藤 悦夫
委員	佐藤 英一郎
委員長	澤田 操
議長	沼田 一夫

傍聴においで下さい

**3月議会は
3月2日(月曜日)
開会予定です。**

【一般質問予定日：5日(木)・6日(金)】

※質問者・質問内容については3月2日以降に町のホームページ（議会事務局）に掲載します。また各公共施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・如風庵
- ・まちのえきまるしめ